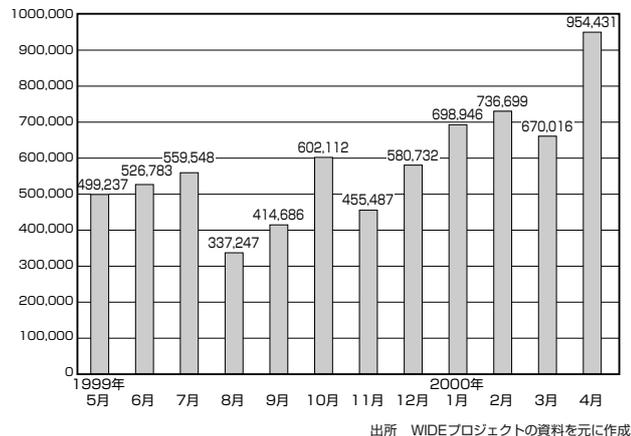


第1章 教育

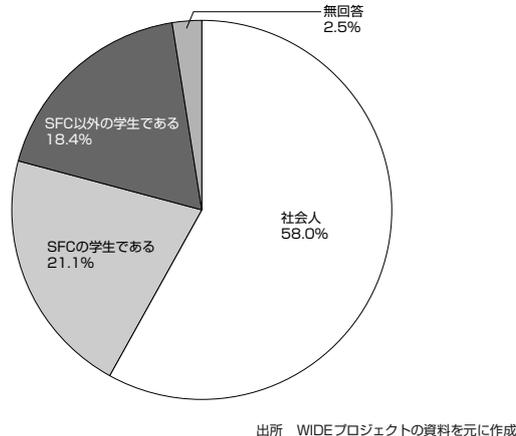
インターネット大学の実験報告

受講生の6割は社会人

資料3-1-28 SOI月別アクセス数の推移 (ウェブへのヒット数)



資料3-1-29 SOI学生の職業 N=1000



資料3-1-30 受講場所の通信速度 N=1000

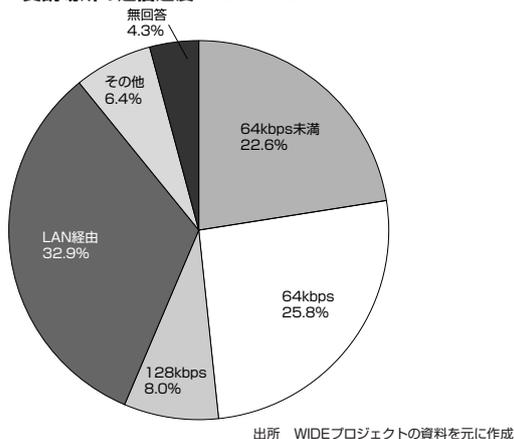


表1 1999年度活動内容

1999年4月	立教大学でSOIを開始
1999年9月 ~2000年2月	ウィスコンシン大学・奈良先端科学技術大学院大学・慶應義塾大学の3大学共同授業開始 (高速ネットワーク、IPv6、DV などを利用したリアルタイム遮断授業と、アーカイブ授業を組み合わせた形式で、時差やスケジュールの違いを吸収)
1999年10月	成績システム運用開始 (暗号化を用いた安全な方法で各レポートの成績を管理し、個人にフィードバックする運用を開始した)
1999年12月	INTERNET Week99会場第4回コンファレンスアーカイブ実験
2000年2月	SOI CAによるSOI学生証発行開始
2000年3月	衛星を使ったインターネットでの受講実験のため、モニター100名を公募しPCとアンテナを貸し出し開始
2000年4月	2000年春学期の一部をアーカイブに加えてリアルタイムでも一般に配信開始 東京工科大学・東京大学・早稲田大学から4教授がSOIでの授業配信実験に参加 早稲田・慶應共同授業開始
2000年5月	SOIサーバーのミラーサイト構築実験の開始 リアルタイム受講用インタラクティブツール利用実験の開始

解説

WIDEプロジェクトでは、デジタルテクノロジーとインターネット基盤を利用した大学環境を模索するための実験として、1997年9月よりWIDE大学 School of Internet (SOI) を開始した。SOIではまず、実際に大学で行われている授業をデジタル化してアーカイブし、インターネットからオンデマンドで受講を可能にすることで、いつでもどこでもだれでもが最高品質の学習リソースにアクセスできる環境構築を行った。学習者はオンデマンドで授業を受講し、オンラインで課題を提出し、課題について他の学生・教員と意見を交換しながら、学習を進めていく。

2000年3月末までに、慶應義塾大学、奈良先端科学技術大学院大学、立教大学、米国ウィスコンシン大学などで実施したインターネットやコンピュータに関する授業、チュートリアルや特別講義を合わせて、約576時間分の授業がアーカイブされ、いつでも受講可能となっている。2000年度春学期からは、さらに早稲

田大学、東京大学、東京工科大学などの協力を得て、大学間の授業交換を実用化するための実験や、オンデマンド授業に加えて、個人がリアルタイムでも授業に参加する実験を開始した。

2000年4月現在、4000人以上が学生として登録されているが、半数以上が社会人で(資料3-1-29)、社会に出てから学習意欲がでたのもう一度勉強したいといったコメントが多い。実際に大学院向けの授業に大学院生よりも優秀なレポートを提出し、学生にも大変よい刺激を与えている例もある。このように学びの場に今まであった制限をとることで、学習のチャンスを広げるだけでなく、学習の場としての質の向上にも貢献できるのではないだろうか。技術面、社会面でまだ解くべき課題は多いが、今後もさまざまな実験をとらしてチャレンジをしていく予定である。

(大川恵子 慶應義塾大学SFC研究所)

<http://www soi wide ad jp>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp